東北商工時報

毎月三回一日十日廿日發行
編輯兼發行人　堀越梅吉
印刷所　福島縣平町北町銀町
發行所　東北商工時報社
編輯部　古川馨六
廣告料　一圓
金一部一ヶ月十錢

幾多足跡を語る
湯本愛國婦人會
縣下隨一の歴史を持つ

男子と女子が固く結束しなければならぬ、世を與げての難局に直面してゐる折柄、湯本町愛國婦人會は思想の打開に意を注ぎ家業に精勵亦經濟方面に關して數的觀念の涵養計數的統計的に覺醒し今や婦人參政權に向つて邁進しつゝあるは注目に値する

同婦人會は歴史は古く明治卅八年に生れ一昨年前知事畑山四男美氏夫人が縣下婦人會を招集して愛國婦人會を結成され發會式を擧行されてより今日湯本婦人會は縣下隨一の優良婦人會をして知られ、同婦人會の特異の事『一錢を笑ふ者は一錢に泣く』の一錢貯金を實行されそれを基本金としてすべて公共事業及び缺食兒童傷病兵の慰問袋等男子の力も及ばざる努力をなし湯本町の發展の爲めに貢献する事甚大である今後の活躍を期待されてゐる役員は左の如し

分會長　石川　秀子
同副會長　樋口　リウ
幹事　井坂　ツネ
若松　シロ
若松　キチ
若松　かん
比佐　スイ
比佐　ナツ
幹事　後藤　とみ
同　川又　クラ
同　金子たか子
同　増山菊子
同　生田目千代子
同　岡村奈美子
同　高萩　タマ
同　奥山　タニ
同　西原　キノ
同　大場　ナヨ
同　金土　シン
同　草野　アサ
同　高木　アサ

人物チックス（2）
風景は動く
鈴木唯次氏
堀江工業株式會社社長

古川　馨六生

『人間は感情の動物』なり出來得るならば圓るく、柔かに、そしてお互に隔る心を去つて赤心と赤心と、直ちに相通ずる樣になりたい事である。

總て物事にはそれ自身に然るべき道理がある、人にはその人の自ら然るべき事情がある、相手の心をその儘眞直に受け入れることさへ出來ればそこに理解が生じ同情が起り天を怨むこと吾人を怨むことも鮮くなる、是非こうありたいものである、その所有者である平町鈴木唯次氏あの巨體は全部精力の塊であると自稱するだけに事業慾に燃え四倉が生んだ事業家である。一面には柔物な處がニコ〳〵主義で宴會などでは至極猫の樣に優しい酒は少々サイダーをちびり〳〵やりながらすまし返つてゐる、これで海外進出の野心があるんだから人間は一体何を狙つて居るか判らない。

奇人鈴木氏は頭腦明晰にして計數に明るく堀江工業の躍進今や全國的に名聲を博し東北は勿論、關東、關西北海道から樺太に至るまで堀江工業まさに日の出の如く發展振り同社の今日の隆盛あるは氏の力大なるものである。

☒住所　平町
☒姓名　鈴木唯次
☒生れ　明治廿三年二月二十日
☒體重　廿貫二百匁
☒好物食ひ物甲乙なし

（四月七日記）

捧げ農村開發に努力せる
大和田長治郎氏を全力
相馬郡石神村々長

大和田長治郎氏は相馬郡石神村長、明治八年十一月生れ文字通り圓滿な人で村民敬愛の中心となり危く村政の亂れんとする秋村民一同から推されて村長となり專ら地方自治に奔走し其の實力聲望共に擧がる。而して非凡の才腕は本縣に絶大な功績を遺し、然も爾來農村振興産業發展福利增進と地方開發に全力を盡し大いに地方民の信頼を厚くしてゐる

明治三十九年に收入役に推され大正三年には助役として村内の利き役者として蹤横に切り廻してゐる。活動家であり熱心で解りが早く押し味もあり情味も豊かで非常に有名だ、氏は石城郡の大校長として貫録は年と共に備はり、みかけはこはい伯父さんだが、話をしてゐるとなんとなく親しみが湧いてくるです、氏もなかなか多忙です平之教育の主筆もやりなか〳〵非常時です

農村將來の爲
一身を捧ぐ
櫛田末次郎氏
上遠野村助役　永瀬幸太郎氏

石城郡上遠野村々長櫛田末次郎氏は本年六十歳の働き盛りで、生來剛氣英明にして果斷力に富み、村政の刷新に、地方開發に重きを置き、村民の融和統一を計り或ひは公共事業の奬勵等公事に奔走し、今や村民の信望集り名村長と謳れるに至つた、在現四千六百五十人、戸數八百六〇戸で村當局は各種副業を奬勵してる

櫛田村長の良き女房振氏は櫛田村長の良き女房振りを發揮し、片腕となつて明敏で熱心で努力家で押し味もあり情味も豊かで目下村會議員として亦春秋に富む氏の將來こそ村民の望みを囑されてゐる

教育者の横顔【一】

☒東北第一の宏大なる校舍と成つた福島第一小學校の教壇にたつて、兒童教育に努めてゐる職員諸氏は幸福であらう、校長鈴木春治氏はこれで本當に落ちついて教育が出來るであらう。モダン校舍新築遂に鈴木氏の努力が報へられ、父兄より名校長として信望隆々たるものである。

☒飯坂湯野温泉郷として全國に有名である湯野村の小學校長としてをさまつてゐる藤田榮先生は靜かに語つた、湯にめぐまれた今日兒童教育研究に疲れた時湯にひたりながら考へるとトテモ好い名案がうかんでくる福島には近いし湯にはめぐまれ、これで不平をならべたら罰があたるよ

☒平町と云へば磐城の平町として全國に其の名を知られてゐる、山には黒ダイヤあり、海あり、山あり、理想的な小都市だ、その申分のない平町に『易者』の教育者として篠山廉平第一小學校長の存在はあまりにも

春…櫻も開く
四月の催し

花の四月となつた何時までも冬の姿を續けた縣下にも四月の聲を聞くと共に梅桃櫻がどつと一時に咲き初め觀櫻會にピクニックに至るところ賑ひを呈するであらう、農家は麥の手入を初め田畑の夏仕度に忙しくなることであらう

本月主なる催しは

◇十二日…福島進輸職員採用試験（福島、郡山、若松三ヶ所）原町春季競馬會
◇十三日…度量衡器調査指導週間　縣水産會水産デー
◇十五日…郡山開盛山公園花見舞臺開き
◇十六日…郡山消防組防空豫行演習
◇十七日…縣辯護士會總會双葉郡産馬畜産組合二藏腑市
◇十八日…福島觀光祭初る白河町本年度徴兵檢査行ふ
◇十九日…川俣署管内消防郡山保勝會觀櫻會
◇廿日…江名町上水道竣工祝賀會
◇廿二日…福島招魂祭奉納武道大會
◇廿四日…縣下統計大會（喜多方町）
◇廿五日…縣自動車業大會（喜多方高女校）
◇廿六日…縣女子青年團總會（若松市公會堂）
◇廿七日…縣男子青年團總會（若松市公會堂）
廿八日…蠶糸祭
◇廿九日…天長節

原町小學校長
前川三省

福島縣桑折町
肥料問屋
齋藤小四郎商店

隅田川炭礦々主
小田吉治

社告
原町支局長
富岡支局長
大越春翠
渡邊岩吉
去る一月都合に依り右支局廢止並び支局長解雇致候也
昭和十一年四月十日
東北商工時報社

飯坂湯野温泉内湯旅館
平野屋
電話二五四番

飯坂温泉
澤又樓

飯坂藝妓組合
叶屋

植田小學校長
鈴木佐忠

玉川小學校長
石井定衛

豊間小學校長
大塚吉藏

小名濱町 町長 小野晋平
助役 高木保
收入役 樋口速

小名濱町會議員 福尾伊太郎

植田町長 古川傳一
植田町助役 渡邊國之助

植田消防組頭 坂本龜太郎

植田町 鷺清昇

湯本町長 石川德壽

平町長 青沼鋒太郎

渡邊村長 永山定秀

江名町 太清左衛門

好間村村長 金成淺吉
助役 鈴木榮一

勿來町 大平睦四郎

勿來信用組合長 小松清三

石城郡豊間消防組頭 遠藤惣三郎

新山信用組合專務理事 佐藤五郎

四倉町長 新妻盛

四倉町 大和田安太郎

四倉町漁業組合長 鈴木賢二

四倉町漁業家 加澤寅五郎

錦村消防組頭 山崎登

江名町町長 河野嘉藏
收入役 吉田茂左工門

合戸村々長 萩野倉太
助役 阿部友睦

合戸郵便局長 合津音一

石城郡鹿島村々長 志賀直哉
助役 佐藤善太

同村消防組頭 佐藤米治

澤渡村村長 佐藤倉造
助役 佐藤清司

双葉郡久之濱町長 木村倉治

久之濱消防組頭 新妻雄一

土木建築請負業 古川三次郎 久之濱町

石城郡平窪村々長 草野常彌
平窪村信用組合專務 鈴木重次郎

石城郡豊間村 濱屋旅館 電話十九番

豊間村 ㊗大敷網事務所 電話十二番

平町田町 電話五〇九番 中野齒科醫院 院長 中野惠次

平四丁目 關内藥局 電話四〇番

平四丁目 小野屋藥局 電話一四四番

平田町 高久病院 電話五一三番

醫學博士 平新川町 北川芳夫 電話四六四番

小名濱町 久保田醫院 電話二三番

大久村々長 柳井義一
助役 飯島助藏

白河土木監督所長 佐藤晃

双葉郡富岡町 渡邊實
町長 助役 生駒京四郎
收入役 志賀運治

富岡消防組頭 大原榮三郎

富岡町在鄉軍人分會長 菅原孝

双葉郡上岡村村長 縣會議員 山田六郎
助役 遠藤勇

廣野村村長 根本一朗

原町町長 遠藤角彌
助役 大浦清次

高平村村長 紺野榮
高平村會議員 星源太郎

八澤信用組合長 田原口三勇

同鹿島消防組頭 西關長次郎

眞野消防組頭 鈴木宗義

福島市長 佐藤澤

公立福島病院 石部豊

福島第一羽二重會社 中川與三郎

福島商業學校長 近藤節太郎

福島第一小學校長 鈴木春治

福島第四小學校長 須田赫二

福島第三小學校長 渡邊德治

福島第五小學校長 津田達造

福島市驛長 田中貫一

福島機關庫主任 磯倉吉

福島驛車掌主任 砂子田丑松

福島縣社寺兵事課長 大高省三

福島縣教育課長 高井倭一

福島縣統計課長 菅野忠次郎

福島縣土木課 阿部治英

福島縣教育課 大谷實
桑原明
佐藤庸男

渡利村郵便局長 村山俊吾

川俣町長 渡邊要助

川俣郵便局長 國分榮市

川俣銀行頭取 武藤茂平

渡利村 鈴木周三郎

白根村長 齋藤善三郎

白根村會議員 齋藤文六

白根小學校長 永井三郎

堰本村 澁谷節三

靈山第一小學校長 櫻井秀雄

梁川町長 加藤宗平
梁川町助役 熊倉末吉

梁川町收入役 横山和三郎

福田小學校長 安齋卯之吉

藤田町長 佐々木八千代

粟野小學校長 小松光治

富野村會議員 宍戸倉次郎

富野小學校長 牛渡整

大枝小學校長 渡邊晴雄

磐城セメント特約代理店 和洋銅鐵金物問屋 ㊗釜屋商店 磐城平町五丁目 電話九番・九九番

福島縣石城郡湯本町 樋口產婆看護婦學校 (電一〇八番) 校長 樋口リウ

平町田町 割烹 末廣 電話四二一番

平田町 御料理 八千代

平田町 御料理 初音 電二三六

湯本町 靴は 栗原森之助商店 電話一六番

平南町 カフエー パラダイス 電三八三

御料理 越の家 平町 電三三〇

山田屋本館 山田屋別館 下山田武助 植田町 電八番

湯本町藝妓屋組合 湯本温泉旅館組合

石城郡泉村 泉信用組合

石川中學校長 森深造

瀨上町長 壹岐右源太

瀨上町績絲會社 佐藤市松

野田村小學校長 大室義一

杉妻小學校長 蜂谷貞三

相馬郡大須佐須神官 久米松太郎 山津見神社

信夫郡庭坂村 高湯温泉 玉子湯

福島市外八島田(野田村) 牛乳は 鈴木牧場 店主 鈴木兵七

名刺專門印刷 古雅堂 店主 古川雅雄